

【高等学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度(評価)
 A:十分達成できている
 B:おおむね達成できている
 C:やや不十分である
 D:不十分である

学校名	佐賀県立佐賀北高等学校
1 前年度 評価結果の概要	・『「確かな学力」を目指した授業力の向上』、『「進路実現」を目指した自己分析力の育成』、『「相互理解」を目指した寛容な心、思いやりの心の醸成』の重点目標を達成するために、教職員一人ひとりが意思疎通を図りながら、計画的・組織的に教育活動に努めた。こうした取組は、一朝一夕に実現するものではなく、本校の伝統と本校職員による日々の粘り強い指導によるものである。また、現状に甘んじることなく、学校活性化のための方策についての議論を重ねることができた。 ・次年度は、北高ルーブリック評価表(仮称)を活用し、生徒が自分自身を分析することで各々の自己有用感・自己肯定感を高揚させる取組を進めていく。併せて、新学習指導要領に適應した教育課程やキャリア教育の充実などの方策を実践に移す等、本校のさらなるパワーアップを目指し、生徒・保護者・地域の期待に応えていく必要がある。
2 学校教育目標	自主・自立を重んじ、知性を高め、人格の完成を目指す。 ①心身ともにバランスのとれた能力の伸長を図り、個性を磨く。 ②自由と責任を両立させて、明るく思いやりのある人間を育成する。 ③社会の変化に対応できる柔軟性、創造性、国際性を育む。
3 本年度の重点目標	「確かな学力」を目指した授業力の向上 「進路実現」を目指した自己分析力の育成 「相互理解」を目指した寛容な心、思いやりの心の醸成

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見直し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				(1)共通評価項目						
●学力の向上	○授業のさまざまな場面で、主体的・計画的に学習活動に取り組む姿勢を養う。	○学期末に学習活動に関する振り返りを行なわせる。 ○6月・12月に進路検討会を実施する。	・年度当初に学習指導に関する研修会を実施する。 ・学期末にポートフォリオを作成する。 ・進路検討会では、各担任や各教科担当からの意見を聴いて生徒の長所や課題を多面的に把握し、進路指導のポイントを探る。							進路指導部
	◎他者の考えや意見を聞く機会を設定し、生徒に物事についての多様な考えを身につけさせる。	○各学期に1回以上、総合的な探求の時間をはじめ、全教科において、協働的な活動の機会を設定する。	・学期末にアンケート調査を実施し、協働的な活動の機会の効果を理解させる。							進路指導部
	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を育む教育活動	○人権・同和教育指導計画とHR活動計画に基づいて人権・同和教育の授業・研修会を実施する	・学校生活アンケート(2回実施)をもとに生徒の意見等を聞く。 ・スクールカウンセラーにより講話を行う。 ・生徒や保護者の円滑なカウンセリング利用・人権同和講演会の実施 ・人権同和教育に関する職員研修の実施 ・人権同和教育に関するLHRの実施 ・人権同和のLHRに関する担任の事前研修の実施 ・地歴公民、その他の教科における人権教育の実施							保健・厚生部(教育相談) 総務部(人権・同和教育)
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「いじめ」防止等について組織的に対応ができていると回答した教職員の割合が70%以上 ○生徒指導、教育相談、担任、顧問と連携して早期発見を目指す ○アンケート後1週間以内に集計の完成と情報の共有を行う	・年3回のアンケート調査の実施 ・覚知の際に各分掌で協力し早期の対応を行う。 ・生徒総会においていじめ撲滅宣言を行い、生徒間での意識の共有を図る。							生徒指導部(学年主任)
	○登下校時の自転車マナーの向上	○自転車事故ゼロを目指す ○登下校時の交通マナーアップの向上	・年度当初の自転車点検の実施 ・交通安全講演会の実施 ・全職員および生徒会と連携し校門周辺の指導を行う。							生徒指導部
●心の教育	○知性と豊かな心を涵養し教養を深める	○貸出冊数目標を一人あたり3冊とする。(昨年度は2.2冊) ○図書委員の活動実務を充実させる。	・図書館フェスタなどへの行事を昨年より早く実施するとともに通常案内・宣伝も積極的に行う。 ・カウンター当番などの通常業務で目録をつけ、書店での選書の回数を増やす。また、先生方に図書紹介の依頼、POP作りなど新しいことに取り組む。							図書
	●健康・体づくり	●「健康に食事は大切である」と考える生徒95%以上 ○心身の健康問題に対する自己管理能力の育成	・生活状況調査、食に関する意識調査の実施 ・保健だよりの発行 ・保護者への個別の連絡 ・睡眠に関する意識調査の実施 ・保健だよりの発行 ・生徒への全体指導と個別指導							保健・厚生部 保健・厚生部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日、年休取得推進期間の設定 ・部活動休業日の設定							教頭
	○教職員の連携促進(学校独自重点取組・任意)	○学校運営を組織的にを行い、業務の効率化を図ることによって、個人負担を軽減する。	・現状に合った取組を考えながら、行事・企画を精選する。 ・業務の進捗状況の共有に努め、職員間のフォロー体制を強化する。							教務部
(2)本年度重点的に取り組む事 ○教職員の連携促進(学校独自重点取組・任意) ○学校運営を組織的にを行い、業務の効率化と分散化を図ることによって、個人負担を軽減する。○										
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
				進捗度(評価)	進捗状況と見直し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○(独自評価項目・任意)	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自重点取組・任意)								
○										
○										

5 総合評価・次年度への展望	●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育
----------------	------------------------